

「重要なアプリケーションの導入時に、F5 のユニットを通して、それらをプロアクティブにすばやく保護することが可能です。これによって開発や複数回のテストを行わずに済み、展開時の時間とリソースを大幅に節約することができます」

Crédit Coopératif
Network System Manager
Philippe Bossut 氏

Crédit Coopératif、F5 の BIG-IP Application Security Manager を使い自社のオンライン・バンキング・サービスを保護



業界:

銀行

課題:

- アプリケーションのセキュリティ脅威に対する予防措置
- サービス品質の最適化

ソリューション:

iRules™スクリプト言語、BIG-IP Application Security Manager™ (ASM)、SSL Acceleration Module 搭載の BIG-IP® Local Traffic Manager™ (LTM)

導入効果:

- 複数機能の導入の簡易化と管理の集中化
- ユーザアプリケーションのパフォーマンスの向上
- カスタマイズ可能なセキュリティ設定によりニーズの変化に対応
- 総所有コストの削減

概要

Crédit Coopératif は、共同企業やグループ企業(中小企業・中小業界、連合、公益団体・公益サービス、個人)に金融サービスを提供する銀行です。フランス全土で事業を展開し、75 の支店と 1,750 名の社員を擁しています。

この大手協同組合銀行では、BEA Weblogic アプリケーション・プラットフォーム上でインターネット専用サービス戦略を実践し、F5 が提供するアプリケーション・デリバリー・ネットワークのための集中型ソリューションを使って、最新のセキュリティ脅威に予防的に対処しています。このソリューションは、同社の Web アプリケーションのセキュリティ、ハイアベイラビリティ、信頼性、将来にわたる利用を保証するものです。

課題

Crédit Coopératif では、フランスで広く利用されている先駆的なインターネット端末である Minitel が発売されて間もないころ(1980 年代)から、顧客に向けてリモート・バンキング・サービスを提供してきました。同社は、その後 2002 年にインターネット・アプリケーションを開発し、再度オンライン・バンキング・サービスの最先端に立つことになりました。

Crédit Coopératif は、オンラインサービスを利用する幅広い顧客層を抱え、J2EE プラットフォーム上で社内開発された数々のカスタム・アプリケーションを提供しています。今では、顧客の大半がオンライン・バンキング・サービスを利用しています。

これらのアプリケーションは、地理的に離れた場所にある 2 つのデータセンターに、ロードバランシング・システムとアクティブ・リダンダンシー・システムと共に設置されています。

オンラインサービスの開発を続ける中、同社ではこれらのサービスの重要な特性に合ったセキュリティ・ソリューションを必要としていまし

た。特に重要視されていたのがトランザクション・アプリケーションのセキュリティです。

Crédit Coopératif では、セキュリティ脅威の発生に備えて予防的に対処すると同時に、最適なサービス品質を顧客に提供するプロアクティブなポリシーを採用しています。同社では、インフラストラクチャレベルでの統合が可能で、容易に展開でき、将来のニーズに対応するセキュリティ・ソリューションを必要としていました。

ソリューション

Crédit Coopératif は、自社のニーズとオンラインユーザの期待に応えるベストソリューションを見つけるために、LAN/WAN ネットワークへのグローバル・セキュリティ・システムの統合を専門に手掛ける IT 企業、Adines (本社パリ)に支援を求めました。

3 つのベンダーを評価した結果、Adines では F5 のアプリケーション・デリバリー・ネットワーク・インフラストラクチャを導入して、すべてのリモート・バンキング・サービスをそれでサポートすることを Crédit Coopératif に勧めました。F5 の実績と革新的な技術を前に、Crédit Coopératif は、これならば自分達のセキュリティニーズを満たす戦略的で長期的なベストソリューションが期待できると確信したといえます。

同社では、J2EE サーバに向けたアプリケーション・ファイアウォールと SSL の高速化、終端処理、再暗号化用として、BIG-IP Application Security Manager (ASM) ソフトウェア・モジュール搭載の F5 BIG-IP Local Traffic Manager (LTM) を採用することにしました。

単一のプラットフォーム

「ロードバランシングやアプリケーション・セキュリティから SSL 高速化によるパフォーマンス最適化にいたるまで、すべての機能を 1 つのプラットフォームでサポートできる点が、何と言っても最大の差別化要因でした。導入のし





やすさと管理用 GUI の使いやすさも決め手となりました」と Adines の General Manager, Sassi Mazroui 氏は述べています。

Web アプリケーションの管理の集中化と簡素化以外にも、カスタム・アプリケーションへのソリューションの適用を可能にする F5 の iRules スクリプト言語により Crédit Coopératif にメリットがもたらされることになりました。iRules は Java セッション・パーステンスに適用した場合、特に便利に機能し、オンライン・バンキング・サービスのパフォーマンスの大幅な向上に貢献しています。

ビジネスクリティカルで戦略的なセキュリティ

「弊社のセキュリティ予算はいわば戦略的な IT 投資です。この投資は、単に攻撃の防止を可能にするばかりでなく、お客様のニーズを満たすための最適な即応性を保証する最大の資産でもあります。お客様は安心して弊社のサービスをご利用いただくことができます。大切なのは起きてから対処することではなく、事前に予防することなのです」と Crédit Coopératif の Network System Manager, Philippe Bossut 氏は言います。

Bossut 氏の助言のもと、アプリケーションとセキュリティを担当するテクニカルチームは、システムセキュリティ・マネージャと情報システムディレクタと共に、定期的にさまざまなシナリオの評価を行い、アプリケーション・ファイアウォール設定の優先順位を特定しています。こうして、最新の重要度に応じたアクションプランを開発/導入しているのです。トランザクション・アプリケーションが特に重要なのは言うまでもありません。

「インフラストラクチャとアプリケーションを担当するチームがアプリケーションごとのリスクを評価し、その結果をもとに私たちがアクションプランを作っています。そうすることで、重要な

アプリケーションの導入時に、F5 のユニットを通して、それらをプロアクティブにすばやく保護することが可能です。これによって開発や複数回のテストを行わずにすみ、展開時の時間とリソースを大幅に節約することができます」と Bossut 氏は説明します。

1 ページあたりの平均容量 85KB のデータストリームを取りあつかうのに、F5 のソリューションは 1 日あたり平均 100 万件のリクエストを処理し、ピーク時の HTTP/HTTPS 接続数は 1 秒あたり 1,200 接続にもなります。

集中型の容易な管理

BIG-IP ASM はリモート・バンキング・アプリケーションに適しており、特に Web による支店間同士のバンキング・アプリケーションで有効に機能します。BIG-IP ASM はリモート・アプリケーション間のすべての通信をプロキシし、記録することから、すべてのアプリケーション・トラフィックを調査し、強引な攻撃から防御すると同時に、すべての動的なパラメータを確認することが可能です。

BIG-IP ASM はアプリケーション・サイト構成を定期的に調査し、アプリケーションおよびそのアプリケーションに入力されるデータパターンの変化を監視します。セキュリティ管理者は、ダッシュボード・インターフェイスを通して ASM がこれらの変化を検出するのを監視し、セキュリティポリシーに対する変更案を確認し、ブロッキングに関するそれらの新しい変更を許容するか拒絶するのを選択することができます。

「BIG-IP ASM では、『リアルトラフィック・ポリシービルダー』アーキテクチャによって、アプリケーション・デリバリー解析に基づきアプリケーションとの互換性が保たれるようになっています。この解析をもとに、セキュリティチームはアプリケーションのセキュリティリスクやコストを考

慮した上で、最適なアプリケーション・セキュリティ・ポリシーを決定します。アプリケーションは BIG-IP ASM により保護されているため、コンプライアンス要件に応じて調整が再開発のどちらか一方、あるいは両方を行うことが可能です」と Bossut 氏は説明します。

こうして新しいアプリケーションが導入されるたびに、それらは F5 ソリューションを通して提供される Crédit Coopératif のグローバル保護ポリシーに前もって準拠することになります。このように、BIG-IP ASM によって、開発チーム間のコラボレーションを通して必要な設定をアプリケーションごとに実装することが可能です。

セキュリティ、最適化、ロードバランシングの各機能を 1 つのプラットフォームに統合することで、Crédit Coopératif はアプリケーションのセキュリティと保守の標準化によるメリットを享受しています。アプリケーションのユーザ展開に向けたこのワンストップ・ソリューションは、これらの機能の管理に必要なリソースの利用を効率化し、総所有コストを削減します。

設定と導入のしやすさというメリットのほかに、BIG-IP プラットフォームはパフォーマンスに悪影響をおよぼさずことなくロードバランシングと SSL 高速化を実行することで、IT リソースを最適化します。今回の成功を受けて、Crédit Coopératif では引き続き F5 の技術をビジネスに統合することを検討しています。

「これらの機能を単一の集中型プラットフォームに統合することによって、アプリケーション管理の面で大きなメリットがもたらされます。今では自信を持って将来の開発に取り組むことができている」と Bossut 氏は言います。



F5 ネットワークスジャパン株式会社

東京本社
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 19 階
TEL 03-5114-3210 FAX 03-5114-3201

西日本支社
〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー 19 階
TEL 06-6225-1250 FAX 06-6225-1111

お問い合わせは F5 First Contact まで : www.f5networks.co.jp/fc/

● お問い合わせ先